



## 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年11月9日

上場会社名 株式会社 セック  
コード番号 3741 URL <https://www.sec.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 櫻井 伸太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 杉山 寿顕

TEL 03-5491-4770

四半期報告書提出予定日 2023年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	3,915	16.2	633	40.3	664	38.2	463	37.8
2023年3月期第2四半期	3,369	16.3	451	25.1	480	26.0	336	25.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	91.02	
2023年3月期第2四半期	66.01	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	9,133	7,727	84.6
2023年3月期	9,185	7,602	82.8

(参考)自己資本 2024年3月期第2四半期 7,727百万円 2023年3月期 7,602百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		69.00	69.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				80.00	80.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,150	8.8	1,400	15.2	1,460	14.2	1,010	14.9	198.24

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	5,120,000 株	2023年3月期	5,120,000 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	22,889 株	2023年3月期	26,867 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	5,094,716 株	2023年3月期2Q	5,096,795 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はTDnetで本日開示いたします。

また、当社は2023年11月24日(金)に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。当日使用する四半期決算説明資料は、TDnetで同日開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国情報サービス業の業況は、経済産業省「特定サービス産業動態統計」によると、2022年4月以降の月別売上高は前年同月比で増加しており、IT需要は全体的には概ね堅調と推察されます。当社事業分野では、サービスロボット関連やスマートコンストラクション関連の開発が大幅に増加したことに加え、官公庁向けの開発も引き続き好調であるなど、需要構造の変化が継続しております。

こうした傾向の中、当社は、重点テーマであります「先端技術を窮め、オープン・イノベーションで事業成長を目指す」を実践し、増収増益となりました。

ビジネスフィールド(以下、ビジネスフィールドをBFと省略)別には、モバイルネットワークBFは、スマートコンストラクション関連の開発が大幅に増加し、売上高は596百万円(前年同期比27.7%増)となりました。インターネットBFは、民間企業向けの開発が増加し、売上高は552百万円(同6.3%増)となりました。社会基盤システムBFは、環境分野や福祉・健康分野をはじめとした官公庁向けの開発が引き続き好調で、売上高は1,349百万円(同12.2%増)となりました。宇宙先端システムBFは、宇宙関連の開発が堅調であることに加え、サービスロボット関連の開発が大幅に増加し、売上高は1,416百万円(同20.1%増)となりました。

この結果、全社売上高に占める割合では、モバイルネットワークBF、宇宙先端システムBFが上昇し、インターネットBF、社会基盤システムBFが減少しております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高3,915百万円(前年同期比16.2%増)、営業利益633百万円(同40.3%増)、経常利益664百万円(同38.2%増)、四半期純利益463百万円(同37.8%増)となりました。

#### ビジネスフィールド(BF)別売上高

ビジネスフィールド	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
モバイルネットワーク	467,290	13.9	596,604	15.2
インターネット	519,662	15.4	552,465	14.1
社会基盤システム	1,202,927	35.7	1,349,436	34.5
宇宙先端システム	1,179,412	35.0	1,416,764	36.2
計	3,369,293	100.0	3,915,270	100.0

#### ビジネスフィールド(BF)別受注状況

ビジネスフィールド	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
モバイルネットワーク	640,378	112.0	329,423	93.9
インターネット	634,100	134.5	324,851	133.9
社会基盤システム	1,345,144	138.1	2,614,039	147.3
宇宙先端システム	1,526,183	122.4	725,041	100.2
計	4,145,807	127.0	3,993,356	129.1

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ51百万円減少し、9,133百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加699百万円・受取手形、売掛金及び契約資産の減少882百万円などによる流動資産の減少144百万円、投資その他の資産の増加98百万円などによる固定資産の増加92百万円によるものであります。

(負債)

負債は、前事業年度末に比べ175百万円減少し、1,406百万円となりました。これは主に、未払法人税等の減少80百万円などによる流動負債の減少161百万円、固定負債の減少14百万円によるものであります。

(純資産)

純資産は、四半期純利益による増加、配当金支払いによる減少、自己株式の処分による増加などの結果、前事業年度末に比べ124百万円増加し、7,727百万円となりました。自己資本比率は前事業年度末の82.8%から84.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比べ699百万円増加して、四半期末残高は3,775百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は1,154百万円となりました。これは主に、売上債権の減少892百万円及び税引前四半期純利益664百万円による増加、法人税等の支払額240百万円による減少によるものであります。前年同期と比較して122百万円の収入増となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動の結果支出した資金は104百万円となりました。これは主に、有価証券の取得による支出200百万円、有価証券の売却及び償還による収入100百万円によるものであります。前年同期と比較して9百万円の支出増となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動の結果支出した資金は351百万円となりました。これは主に、配当金の支払い350百万円によるものであります。前年同期と比較して28百万円の支出減となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間における業績及び最近の業績動向を踏まえ、2023年5月11日に公表した2024年3月期の通期業績予想及び配当予想を修正いたしました。当該業績予想の詳細につきましては、2023年11月9日公表の適時開示資料「第2四半期業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(注) 上記に記載した予想数値は、本資料発表時現在において当社が入手可能な情報に基づいて算定しており、実際の業績は、今後様々な要因により当該予想と異なる場合があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,076,668	3,775,827
受取手形、売掛金及び契約資産	3,871,447	2,988,495
商品及び製品	51	42,571
その他	95,192	92,124
流動資産合計	7,043,360	6,899,019
固定資産		
有形固定資産	159,604	152,372
無形固定資産	3,821	5,847
投資その他の資産		
投資有価証券	1,005,485	1,104,944
その他	972,838	971,422
投資その他の資産合計	1,978,324	2,076,366
固定資産合計	2,141,750	2,234,587
資産合計	9,185,111	9,133,606
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	334,723	353,765
短期借入金	36,000	36,000
未払法人税等	269,409	189,032
賞与引当金	338,000	302,000
役員賞与引当金	32,500	—
資産除去債務	5,386	—
その他	375,756	349,905
流動負債合計	1,391,775	1,230,703
固定負債		
資産除去債務	58,146	58,346
その他	132,356	117,478
固定負債合計	190,503	175,824
負債合計	1,582,279	1,406,528
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	477,300	477,300
資本剰余金	588,175	591,546
利益剰余金	6,554,359	6,666,658
自己株式	△64,794	△55,217
株主資本合計	7,555,040	7,680,286
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	47,791	46,790
評価・換算差額等合計	47,791	46,790
純資産合計	7,602,832	7,727,077
負債純資産合計	9,185,111	9,133,606

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	3,369,293	3,915,270
売上原価	2,396,645	2,751,682
売上総利益	972,648	1,163,587
販売費及び一般管理費	521,405	530,333
営業利益	451,242	633,254
営業外収益		
受取利息	1,600	3,061
受取配当金	636	706
不動産賃貸料	2,126	2,097
補助金収入	4,219	3,885
受取出向料	20,901	19,589
その他	1,583	3,024
営業外収益合計	31,068	32,363
営業外費用		
支払利息	340	337
不動産賃貸費用	743	741
支払手数料	495	1
営業外費用合計	1,579	1,080
経常利益	480,731	664,537
税引前四半期純利益	480,731	664,537
法人税、住民税及び事業税	117,721	162,321
法人税等調整額	26,548	38,491
法人税等合計	144,269	200,812
四半期純利益	336,462	463,724

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	480,731	664,537
減価償却費	15,089	16,674
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△26,000	△36,000
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△19,500	△32,500
長期未払金の増減額 (△は減少)	—	△27,875
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△26,852	△23,871
受取利息及び受取配当金	△2,236	△3,767
支払利息	340	337
売上債権の増減額 (△は増加)	924,250	892,194
未収入金の増減額 (△は増加)	△5,787	△3,757
棚卸資産の増減額 (△は増加)	2,196	△42,519
仕入債務の増減額 (△は減少)	△65,341	19,041
未払金の増減額 (△は減少)	△27,891	△36,451
未払消費税等の増減額 (△は減少)	8,943	4,938
その他	5,001	807
小計	1,262,945	1,391,790
利息及び配当金の受取額	2,225	3,489
利息の支払額	△343	△340
法人税等の支払額	△232,252	△240,325
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,032,575</b>	<b>1,154,614</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△91,180	△6,556
無形固定資産の取得による支出	△109	△3,344
投資有価証券の取得による支出	△892	△200,901
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	100,000
資産除去債務の履行による支出	—	△5,389
敷金及び保証金の差入による支出	△2,290	—
敷金及び保証金の回収による収入	—	12,160
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△94,472</b>	<b>△104,031</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	150,000	150,000
短期借入金返済による支出	△150,000	△150,000
配当金の支払額	△310,421	△350,561
自己株式の取得による支出	△68,955	△72
リース債務の返済による支出	△793	△793
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△380,171</b>	<b>△351,428</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	557,937	699,159
現金及び現金同等物の期首残高	3,234,956	3,076,668
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,792,893	3,775,827



(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年6月28日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬としての自己株式4,000株の処分を行っております。この結果、当第2四半期累計期間において、単元未満株式の買取りと併せて自己株式が9,576千円減少し、当第2四半期会計期間末において自己株式が55,217千円となっております。